

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 愛媛県 】

学校名【 今治市立富田小学校 】

1 実践テーマ	①・II・③・IV・⑤（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	6年生・112名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名（総合的な学習の時間）</p> <p>② 行事名（ ）</p> <p>③ その他（ ）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名（ ）</p> <p>② その他（ ）</p>
4 目標 (ねらい)	<p>・オリンピック・パラリンピック競技を含むスポーツの意義や歴史について理解し、スポーツのよさを感じ取る。</p> <p>・スポーツを通して、すべての人が充実した生活を送ることができる社会をつくるために、自分たちにできることを考える。</p>
5 取組内容	<p>・7月</p> <p>総合的な学習の時間の授業において、オリンピック・パラリンピックやスポーツについて個別にテーマを決めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○オリンピック・パラリンピックの歴史</li> <li>○注目するスポーツの歴史</li> <li>○注目する選手・競技</li> <li>○郷土出身のオリンピック・パラリンピック出場者</li> </ul> <p>テーマごとに調べ活動を行い、理解を深めた。調べ活動と並行して、オリンピックで応援したい「推し選手」を紹介し合った。</p>

メモ 金メダル(日本)  
 ・ホフシング、ウエイトリフティング、レスリング  
 ・柔道軽量級、柔道重量級、柔道中量級  
 ・体操男子つりかけ、体操男子跳馬  
 ・女子バレーボール

自分のオシ!  
 錦織 圭 せんしゅ (O) **テニスのオシ!**  
 世界ランキング自己最高位はシングルス4位  
 島根県松江市出身 身長178cm、体重73kg、右打ち、Aがた  
 18歳でテニス選手権で優勝  
 シングルスで日本人史上最多の12度優勝  
 ダブルスでは準優勝を1度  
 2016年、リオデジャネイロ五輪男子シングルスダブルメダリスト  
 12月29日生まれ 5歳でテニスを始めた  
 小学4年生で、中国地方代表として全国小学生テニス選手権大会に出場。ベスト8の成績をのこす  
 中学生でアレクサンドル・ドゥルゴポロフに勝利し、優勝  
 2008年にテニス選手権で優勝し、予選から勝ち上がり、ツアー初優勝をたしめた。

児童の調べ活動

・9月

オリンピック・パラリンピックを見て感動したことや心に残った競技について話し合った。7月に「推し選手」としていた選手が予選で負けてしまい悔しかったことや、今回から始まった競技が予想以上に面白かったことなどを述べ、大会の盛り上がりを感じていた。地元今治市出身の山口尚秀選手が金メダルを取ったことに感激し、その活躍の様子をみんなの前で発表した児童もいた。



推し選手の紹介

・10月

パラリンピックの種目のうち、ボッチャ、ゴールボールの試合を動画で視聴し、チームの戦略や得点を取るための様々な工夫や、ボールをコントロールする高い技術を感じることができた。調べたことをまとめ、発表会を行った。調べ活動や発表会から、スポーツを通して考えたよりよい共生社会について話し合った。



パラスポーツの視聴

6 主な成果

オリンピック・パラリンピックに出場した地元選手の活躍を知ることによって、スポーツへの関心を高めたとともに、郷土のすばらしさを誇る心情を育てることができた。

自分たちが体育科の授業等で行っている運動を極めれば、すごい技や記録に結び付くことを知り、今取り組んでいる運動をより高い目標を持って行おうとする心情を持つことができた。

パラリンピックならではの競技への知見を広め、試合の様子を見たことで、体の自由・不自由に関係なくチームプレイのすばらしさや、技術獲得の努力に対する尊敬の気持ちを持つことができた。

<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>地元選手がパラリンピックで金メダルを獲得したこともあり、パラリンピックへの関心や、オリンピックとパラリンピックの競技方法の違い、さらに誰もが気軽に楽しめるパラスポーツやその競技の奥深さへと児童の思考が流れていった。そのことから、特にパラスポーツの魅力について学ぶことにつなげていった。</p> <p>競技の体験活動はできなかったが、ボッチャ、ゴールボールの競技の単純さ、それだけに競技中の駆け引きが勝敗を分けること、出場選手の技術の高さを知ること、選手がどれだけ苦労や努力をしたか、パラリンピックにかける思いを共感させた。</p>
<p>8 主な課題等</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止の措置により、地域の障がい者施設との調整がうまくつかなかったため、パラスポーツの体験活動を行うことができなかった。</p> <p>スポーツに興味のある児童と興味のない児童の温度差があった。自身がスポーツに親しんでいる児童は、継続してスポーツの話題について話すことが多かった。一方、普段スポーツをしない児童は、パラリンピック終了後、スポーツに関する話題はあるものの、体を動かす機会が減っていった。</p>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<p>オリンピックだけでなく、様々なスポーツのワールドカップや世界選手権など、国を代表して競技する大会があることを紹介して、今後もスポーツに対する関心を継続的に持たせ、生涯スポーツの素地を培っていきたい。</p> <p>夏季オリンピックと同様に冬季オリンピックの競技について、休日や長期休業中の自主学習で調べ活動を行わせ、ウィンタースポーツの知識や理解を深めたい。</p>